

水道

市直営で、安全・安定的な水の提供を

人間が生きていくうえで欠かせない水道事業は、憲法に保障された「基本的人権」を守るものであり、原則、市町村が責任を持って運営すべきものです。



ところが安倍政権は、第193国会に、地方自治体が水道の運営権を民間業者にゆだねることを認める「水道法改正案」を提出しました。

水道事業を広域化し、官民連携を推進しようとしています。

その方針に沿う形で、広島県知事は、県内市町の水道事業を統合する方針を示しました。

広域化・民営化は、やめよ

広域化は、細やかな維持管理や緊急対応を困難にし、民営化は、安全性や料金の引き上げが懸念されます。世界では、民営化による様々な弊害から、再公営化した事例が15年間で35カ国、少なくとも180件あります。

地方自治体は、身近で多様な水源を維持・確保し、安全で安

定的な水道

の提供に力を

を尽くすべきです。

市直営を

堅持し、広域

化や民間委託

を行わないよう強く

求めました。

市は、県の広域連携について

「メリット・デメリットを議論する」と答弁しました。



中津原浄水場

国保

市民の生活実態を把握し、国保税の引き下げを

来年度、国民健康保険の運営が市町から県に変わります。

県内で保険料が統一され、試算では、福山市の国保税は1割以上も増額します。

市の一般会計から予算を繰り入れる「法定外繰入」を行い、負担増を防ぐよう強く求めました。

しかし市は、「市民負担の公平性から、県単位化後は激変緩和期間（6年間）中に『法定外繰入』を解消すべき」と答弁しました。

今でも国保税の負担は重く、所得の2割前後を占めるほどで

す。これ以上の負担

増は許されません。

市民の命とくらし

を守るため、引き続

き、国保税引き下げ

に力を尽くします。

所得申告や

減免申請の周知を



「国保をよくする会」の請願提出に同席

国保税には、所得に応じて7

割・5割・2割が軽減される国

の減免制度がありますが、所得申

告しなければ対象になりません。

18歳以下の子どもが2人以上

いる軽減世帯などを対象とした

市の減免制度も、申請が必要です。

所得申告や申請が必要と知ら

ないために、高い国保税となり

滞納する世帯が出ないよう、手

立てをとることを求めました。

問合せ 市国保年金課

TEL 084-928-1055

低所得世帯の減免制度拡充を

全国では、生活保護基準以下の世帯の全額免除や、国減免割合の上乗せで8割・6割・4割軽減など、独自に助成する市町もあります。

市民の生活実態を考慮し、減免制度を拡充するよう求めました。

鞆

貴重な町並み保存に万全の体制を

市は、鞆町の伝建保存地区を、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に申請しました。

歴史的町並みの保存整備を万全の体制にするよう、先進自治体の事例を示して要望しました。

質問

市文化財課に専門家が常駐し日常的な指導・助言できる体制や、市職員のヘリテージマネージャー資格取得の推進を。

答弁

「行政内部の体制強化や外部組織との連携を調査・検討している」

質問

保存技術や伝統技能の育成を。

答弁

「建築士会等と連携し、必要な環境づくりに努めたい」

質問

修理・修景の施行業者の規制を。

答弁

「ヘリテージマネージャー資格者を有する事業所を建造物の所有者に情報提供する」

質問

修理事業に見合う「設計調査費」を。

答弁

「望ましいあり方を今後の課題とする」



※ヘリテージマネージャー歴史的建造物の保全・活用の専門家

ヘルプマークの無料配布へ

内部障害や難病、精神障害、義足など、外見で分からない不自由を抱える人が、周囲の理解や手助けを得やすくするために「ヘルプマーク」の取組みが広がっています。

「福山市でも普及を」との要望を受けて、日本共産党市議団は市議会ですべて、「ヘルプマーク」の導入を要求しました。

当時の市の答弁は「効果进行评估するが、県で統一した実施が望ましい」との事でした。



そして今年、広島県が導入し市町との連携を表明。現在、県で無料配布されています。

受付 県健康福祉局 TEL082-513-3157
メール fusyoushien@pref.hiroshima.lg.jp

※外出時等に服やカバンにストラップで着用できます



見かけたときは、あなたの思いやりを

議会だより 2017年秋号

日本共産党
福山市議会議員団

村井あけみ

TEL.084-941-2366
FAX.084-994-1767
Eメール murai@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

村井あけみの奮戦記

検索

高木たけし

TEL.084-972-6830
FAX.084-972-6830
Eメール takagi@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

たけし通信

検索

土屋ともり

TEL.084-957-2304
FAX.084-957-2401
Eメール tsuchiya@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

土屋ともりのよもやまブログ

検索

河村ひろ子

TEL.084-965-6049
FAX.084-962-1928
Eメール kawamura@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

ひろ子ワールド

検索